

第26回西日本事例発表オンライン研修会 発表概要シート

法人名	株式会社アクティブライフ	施設名	エスティームライフ学園前
発表タイトル	寝たきり状態からの立位保持		
研究の目的	「トイレで排泄ができるようになりたい」ご本人の目標達成が目的		
発表の概要	<p>自宅では一日中ベッド上での生活。 エスティームライフ学園前に入居後も、ベッド上でオムツやパットを外し、排泄介助の回数も1時間に1回と多くみられた。 「トイレで排泄が出来るようになりたい」M様の目標達成のために取り組んだ事例</p>		
研究方法	<p>①トイレ移乗時の不安軽減。 ②立位保持への取り組み。握力向上と立位保持。</p>		
成果・結果	<p>①はじめは、移乗時は介護職員2名での介助を徹底。 2名いることでご本人も安心され、1日3回のトイレ移動を行うことができた。 その後、立位保持の取り組みにより、手すりを持ち立位保持ができるようになり、介護職員1名でも移乗することができるようになる。 ②握力向上の為に、タオルを用いた機能訓練などを行う。立位訓練により、手すりをもち立位保持ができるようになる。</p>		
考察	<p>・ご本人の想いがかない、前向きな言動が見られるようになった。 ・ご家族もご本人がトイレで排泄されることを喜ばれる（自宅では一日中ベッドでの生活、トイレもベッド上でおむつ交換）。</p>		
アピールポイント 伝えたいこと			